



レジ



しなものをならべる

スーパーマーケットではたらく人たち

- スーパーマーケットではたらく人たちは、どんな仕事をしているのかしらべてみましょう。

みなさんも、スーパーマーケットへ行ったときに、レジでお金をけいさんする人やしなものをならべる人たちを見たことがあるでしょう。

この店ではたらいっている人たちは、全部で400人ぐらいですが、上の写真のような売り場だけでなく、わたしたちがふだん目にしない場所でも、たくさんの人たちがはたらいています。

スーパーマーケットには、わたしたちが買いものをする売り場のおくに、しなもののそうこや、魚、やさいなどを切っ



せんでんのことばかき



魚のパックづめ

たりパックづめにする場所、事務所（売り上げのけいさんをしたり、しなものを注文したりするなど、いろいろなしせつがあります。

スーパーマーケットではたらいっている人たちは、どんなねがいをもち、どんなことに気をつけて仕事をしているのか、見学して聞いてみましょう。



おくにあるそうこ



スーパーマーケットにある広いちゅう車じょう

- 見学したスーパーマーケットで、お客さんに、どんなところから来たのかインタビューしてみましょう。

こうこくのちらし



たくさんのお客さん このスーパーマーケットでは、月に5回から6回、およそ5万まいのこうこくのちらしをくばってとくに安く売るしなものなどのせんでんをしています。ちらしは、市内だけでなく、犬山市や江南市、関市などにもくばっています。

多くのお客さんが、車にのって来るため、ちゅう車場を広くとってお客さんが買いものに来やすいようにしています。ここのちゅう車場は、全部で1200台ほどの車がちゅう車できる広さがありま



店の中にある休けい所

す。
スーパーマーケットでは、たくさんのお客さんが、たのしく気もちよく買いものできるためにいろいろなくふうがされています。

休けい所やエスカレーター、レストランなどのしせつだけでなく、しなものをきれいにならべたり、タイムサービスを行ったりすること。また、さまざまなおしを行ったりすることも、くふうのひとつです。

- 上の写真も、下の写真も、大きなスーパーマーケットにはよくあるしせつ、せつびです。なんのためにあるのでしょうか。

- 自分たちでも見学して見つけてみましょう。



カートおきば

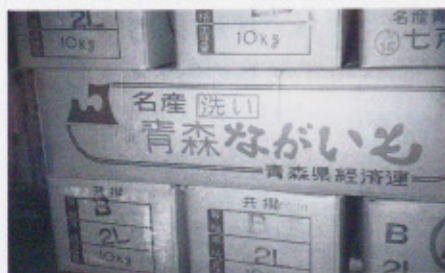


にもつをトラックからおろす

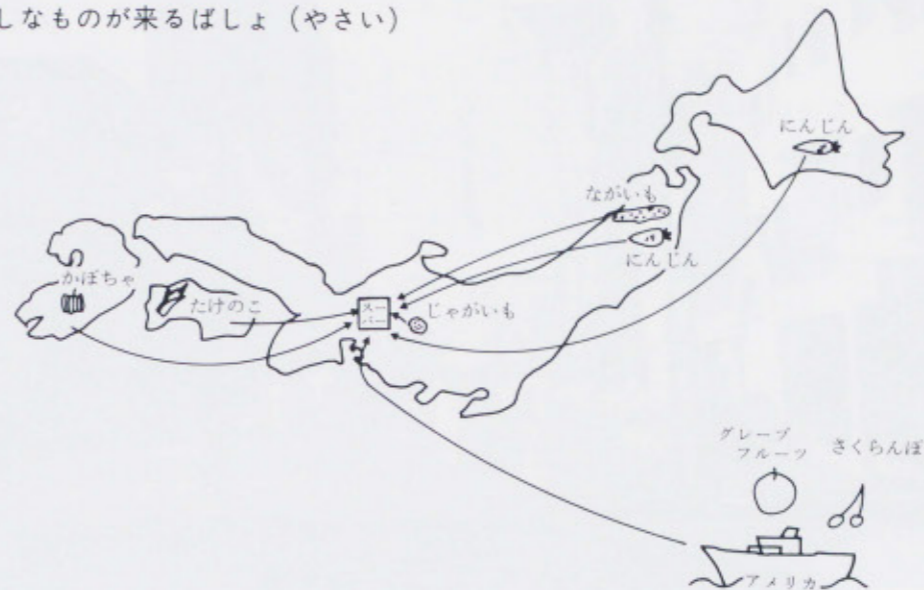
- 下の写真から、それぞれのやさいがどこからはこばれてきたのかわかりますか。

しなものはどこからきたか このスーパーマーケットでは、いろいろなしなものをつんだトラックが、1日中でいりしています。

よその県から運ばれてくるしなもの



しなものが来るばしょ (やさい)



これらのしなものは、どこから運ばれてくるのでしょうか。写真や絵地図から県外からも、いろいろなしなものが運ばれてきていることがわかります。

また、しなものの中には、グレープフルーツやさくらんぼなどのように、アメリカから送られてくるものがあります。また、かべかけやおきもの一部には、インドネシアやホンコンから送られてくるものもあります。

このように、買いものを通して、国内の各地や外国とつながっていることがわかります。

- しなものがどこから来るか、店の人に聞いたり、商ひんのはこを見たりしてしらべてみましょう。



本町通りのようす

3. 本町通り商店がい

- みなさんは、本町通り商店がいへ行ったことがありますか。
- 教科書や副読本をさんこうにして、近くの商店がいを見学してみましょう。

本町通り商店がいのとくしょく JR那加駅前
の長さおよそ300メートルの本町通りには、34軒ほどの店が、通りの両がわにぎっしりとならんでいます。食べもの、のみものを売る店をはじめ、着るもの、はきもの、くすり、どうきを売る店などのほかに銀行ぎんこうもあります。

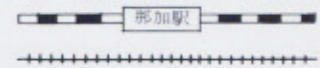
この商店がいには、近く的那加の人たちをはじめ、車にのって、稲羽・蘇原などの人たちも買いものにやってきました。この商店がいに行けば、わたしたちの

毎日のくらしにひつようなものは、ほとんどそろえることができます。買いものにやってきた近くにすむおばさんに、この商品がいのよいところを聞いてまどめました。

- 近いから、買いものにあまり時間がかからない。
- 買う店がだいたいきまっているので、顔をおぼえていて親切にしてくれる。
- 店にないものをとりよせてくれたり、重いものはいたつしてくれたりする。
- 夜のおそい時間でも、売ってくれる。
- 買ったものがこしょうしたとき、すぐなおしに来てくれる。

商店がいには、スーパーマーケットとはちがったよさがあることがわかりました。

本町通りの店の集まりの絵地図



旅行センター	モーターズ
パンや	レストラン
駐車場	あなかがり
かしや	美容室
駐車場	葉きょく
すし	ブティック
旅行センター	クリーニング
でん気や	フルーツ
とう器	ショップ
はいしゃ	しんぶん
かし屋	
時計や	
じゅく	
不動さん	
しょうけん	金物店
とこや	でん気・時計
駐車場	流し台
旅行センター	マッサージ
スポーツ	駐車場
酒 店	銀 行
やおや	
ふとん店	

21 号 線



むかしの店のようす(大正じだい)

- 上の写真は、本町通り商店がいにある酒やさんをとったものです。

本町通り商店がいのれきし 本町通りに店ができたのは、1920年(大正9年)に高山本線がしかれ、那加駅がつくられてからです。しかし、そのころはこの通りに3、4けんほどの家しかありませんでした。通りに家がならびだしたのは、昭和に入ってからです。飛行場や大きな工場にくわえて、1935年(昭和10年)ごろに工場ではたらく人たちの社宅ができたため、本町通りに大ぜいの人があつまるようになり、店がたくさんならびました。

※ 社宅とは、工場ではたらく人たちや、その家ぞくの人たちが住む家やアパートのことです。



夏まつり歩行者天国のようす(平成3年)

しかし、1970年(昭和45年)をさかいに、本町通り商店がいにお客さんに来るお客の数が減りはじめました。そのころのようすを、商店がいのおじさんが話してくださいました。

「昭和45年ごろまでは、本当にたくさんのお客さんでにぎわっていたのですが、その次の年からこのあたりに次々と大きなスーパーマーケットができてね。そちらの方へお客さんが行くようになり、本町通りにお客さんの数が年々少なくなっていったんです。そのため、売り上げも少なくなっていきました。」

- スーパーマーケットがオープンした年
- 名鉄ショッピング 1971年(昭和46年)
- ユニー 1974年(昭和49年)
- イズミヤ 1981年(昭和56年)
- イトーヨーカドー 1982年(昭和57年)



歩行者天国のじゅんぴをする商店がいの人たち

- 店どうしが、力を合わせてどんなことをしているのかを調べてみましょう。

力を合わせる本町通り商店がい 客の数が年々へって行く中で、本町通りの店の人たちは、どうすれば客をふやし、もっと本町通りをさかんにできるか、よいしなものを、たくさん、楽しく買ってもらうためにはどうしたらよいかについてなんども話し合いました。

そうして、1979年（昭和54年）に『本町通り商店がいしんこう組合』をつくりました。

組合の人たちが、くふうし力を合わせてやってきた仕事は、つぎのようなことです。



- 夜でも安心して買いものができるように、がいろとうをつける。
- 通りの両がわに、きせつにあったかざりをつける。
- お盆や年のくれに、大売り出しやぶくびきをする。
- 夏には、歩行者天国や盆おどり大会をする。
- 新しい商店がいづくりを進める。

商店がいの人たちのどりょくで、買いもの客はしだいにふえてきました。



あたらしい本町通り商店がい

※ モールとは、車が通
る道と人が歩く歩道
とをわけた道のことで
す。

はってんする本町通り商店がい 本町通
り商店がいは、はば12メートルだった道
ろを、16メートルのモールにし、両がわ
にある店もあたらしいものになりました。
このようにするためには、10年という長
い年月と、たくさんのお金がひつようで
した。

こうした町づくりは、この町をさら
にはってんさせ、客を今いじょうにふやし
たいという商店がいの人たちの強いねが
いがあったからこそできたものです。

この町づくりの中心として仕事をして
みえた、しんこう組合の理事長さんは、



あたらしくなった
店のようす

次のように話してくださいました。

これからの商店がいは、ただ、も
のを売るといっただけではいけません。
買いものに来てくれるお客さんたち
が、楽しい気分になれるように、い
ろいろなもよおしをしたり、あたらし
いじょうほうをお知らせするよう
なくふうをしていくひつようがあり
ます。これからも、みんなでぺんき
ようし合って、よりよい本町通り商
店がいにしていきたいと思います。

- みなさんだったら、
どんな商店がいであつ
たらよいと思いますか。

四 わたしたちのくらしと ものをつくるしごと



安田屋パン工場

● わたしたちは、くらしのなかで、どんなものをつかっているでしょう。

● 工場で作られるものと、田や畑で作られるものに分けてみましょう。

わたしたちが、くらしのなかでつかっているものはたくさんあります。どんなものがあるでしょう。

これらのものは、工場や田や畑で作られています。

上のしゃしんは、おがせ池の近くにある安田屋パン工場です。ここではどんなものがつくられているのでしょうか。また、どんなとりよやくふうをしているのでしょうか。



にんじんをしゅうかくしているおじさん

上のしゃしんは、おじさんが畑で、にんじんをしゅうかくしているところです。市では、このほかにどんなさくもつをつくっているでしょう。

ここでは、わたしたちの市で、どんなものをつくっているのか、どんなしごとがあるか、どんなくふうやど力をし、つくったものは、どこにはこばれているかなどについて、見学をしたり、聞いたりして学習します。

● しゃしんなどから、ここでは、どんな学習をするのか、話し合い計画を立てましょう。



広々とつづくにんじん畑 (鶴沼第一小学校ふきん)

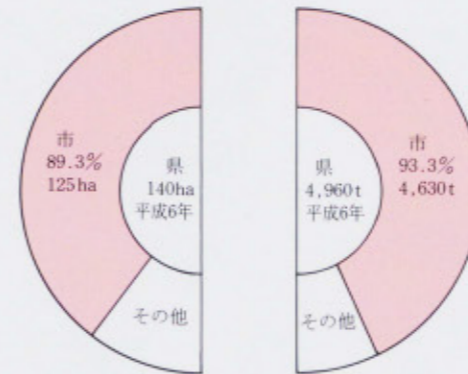
1. にんじんを そだてる

- 田や畑では、どんなものがつくられているか、しらべてみましょう。
- 2年生で、やさいをそだてたときのことを思い出してみましょう。

にんじん畑のようす 先生が、土のついたにんじんを見せてくださいました。みどりののはのついた大きなにんじんです。つぎに、にんじん畑のしゃしんを見せてくださいました。にんじん畑がいちめん
に広がっています。しゃしんを見てみんなで話し合いました。

つぎに先生は、にんじんづくりのグラフを見せてくださいました。それによると、岐阜県でつくられているにんじんの多くが、各務原市でつくられていることがわかりました。

春夏にんじんの作付面積と収穫量
・作付面積 (作られた畑の広さ) ・収穫量 (とれたにんじんの量)



(平成6年 各務原市の農業から)



にんじん

※ 春・夏にんじん

春から夏にかけてしゅうかくされるにんじんのことをいいます。冬にしゅうかくするにんじんのことを、冬にんじんといいます。

- にんじんをそだてる農家の人のしごとをしらべる計画を立てましょう。

わたしたちは、みんなで話し合っ
て、にんじんをそだてるしごとをしらべて、発表することにしました。

しらべること

- にんじん畑のようす
- 農家のようす
- にんじんをそだてるしごとのようす
どんなしごとがあるか
にんじんをそだてるくふう
きかいや道具
そだてたにんじんを、どこにおく
っているか。
にんじんをそだてているわけ



にんじんをそだてている農家のようす

- 農家のようすは、どのようにになっているかよく見てしらべてみましょう。

にんじんをそだてる農家^{のうか} わたしたちは、にんじんをそだてている農家をけんがくし、みんなで話し合いわかったことをまとめました。

—しらべたこと—農家のようす—

- じぶんのすんでいる家とくらべてちがいをみつけましょう。

- なや、車こ、さぎょうば、ものおきごやなどいくつものたてものがあり、広い。
- にわがとても広い。
- なやには、しごとにつかうものがたくさんある。
- さぎょうばには、にんじんをつめる箱^{はこ}やあみがある。

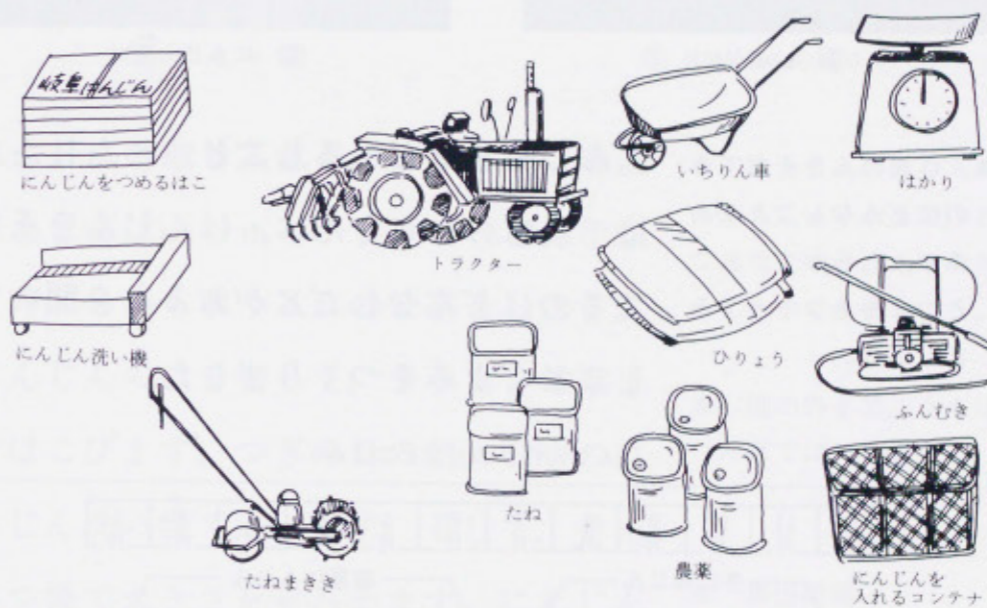


なやの中



さぎょうばの中

しらべたこと—なや・さぎょうばなどにあったもの



わかったこと・思ったこと

- たくさん道具がある。
- どんなしごとをするときに使うか。

※ 道具やひりょう、農やくは、遠くの市から買います。



① 土をほりかえし、うねをつくる



② たねまき



⑤ しゅうかく



⑥ にんじん洗い



③ しょうどく



④ まびき



⑦ せんべつ

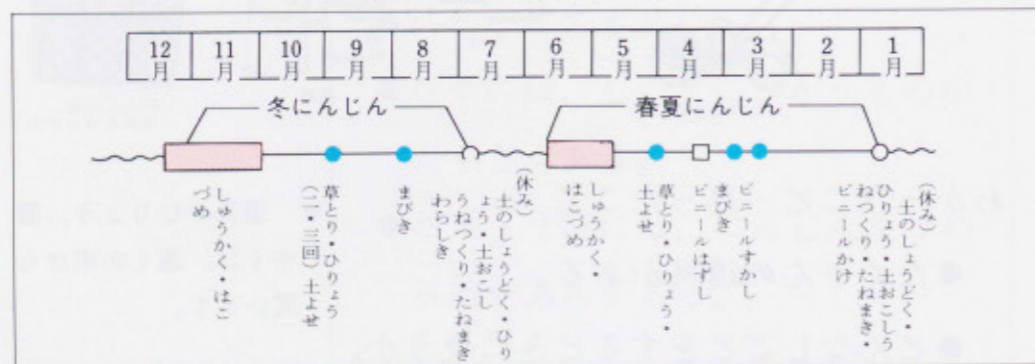


⑧ にんじんの箱づめ

● にんじんをそだてるのにどんなしごとがあるか、しらべて、しごとごよみをつくってみましょう。

にんじんをそだてるしごと わたしたちは、農家のおじさんに、にんじんをそだてるのにどんなしごとがあるかを聞いて、しごとごよみをつくりました。

にんじん作りのしごとごよみ



にんじんの取り入れと、しゅつか 春夏
 にんじんは、しゅつかする前の日の午後4時ごろから取り入れの仕事をします。にんじんのはを切って、トラックで家まではこびます。つぎの日の朝、なやのにんじん洗い機で洗います。そして、せんべつ機で大きさをそろえます。にんじんを大ききべつに10キログラムずつ箱づめし、午後2時ごろまでに、集出荷場にはこびます。

● にんじんの取り入れからしゅつかまで、どんなしごとがあるのかしらべてみましょう。

※ 畑の外まで、うんばん車ではこびます。

※ 集出荷場
 平成5年、鶺沼各務原町にたてられました。市内で取り入れられたにんじんは、ここに集められてきます。



ビニルかけ（春夏にんじん）

● にんじんをそだてるしごとでは、どんなくふうをしているでしょう。

● ビニルをかけ、ビニルをすかしたり、とじたりするのは、どんなわけがあるのでしょうか。

にんじんをそだてるくふう 春夏にんじんは、冬のさむいころからそだてるので、たねまきをしてから、ビニルをかけます。ビニルをかけるとあたたかくなり、にんじんがそだつからです。そして、おんどが上がりすぎないように、ビニルの下をすかします。すかすことをわすれると、にんじんがぜんぶかかれてしまうこともあるので、おんどにとっても気をつけています。ビニルをすかしたり、とじたりするしごとは、とてもめんどろですが、たいせつなしごとです。

冬にんじんをそだてるときには、夏の



わらしき（冬にんじん）

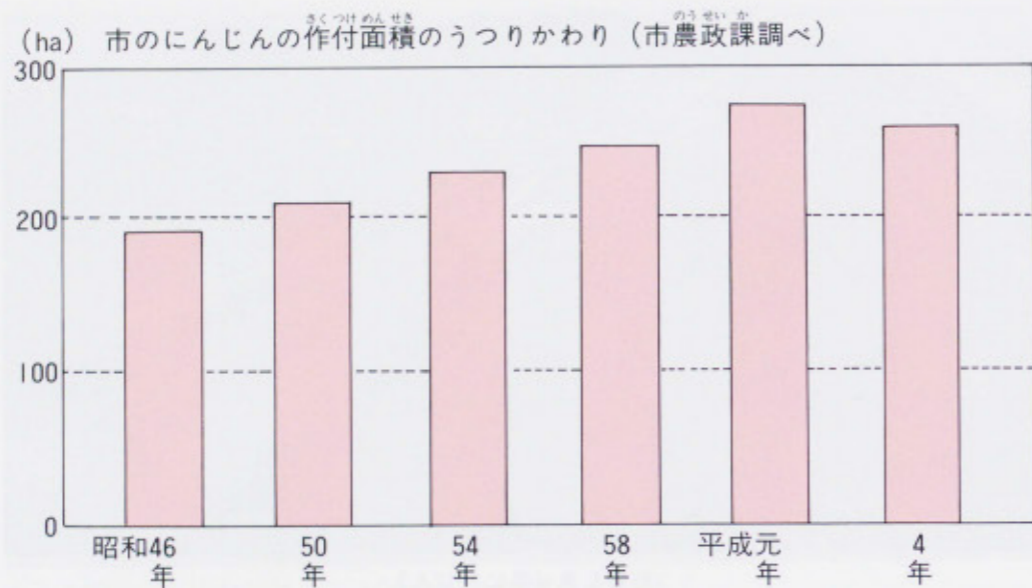
あつい時にたねをまきます。たねをまいた上にわらをこまかく切ってしきます。わらをしき、夏のあつきからにんじんのめをまもるのです。また、夕だちなどでつよい雨がふると土の中からたねが出てしまい、めが出ないからです。

にんじんが少し大きくなると、「まびき」をします。「まびき」をするとしゅうかくのときのにんじんの形がよく、大きさがそろうからです。小さななえを一本一本よく見て、じょうぶななえをのこし、そだっていないなえをぬくしごとは、目がつかれ、こしがいたくなります。

● 冬にんじんをそだてるときに、わらをしくのは、どんなわけがあるのでしょうか。

※「わら」は、いねのくきのことです。

※「まびき」は、よくそだったなえをのこし、あまりそだっていないなえをぬき、なえとなえのあいだを同じ長さにするということです。



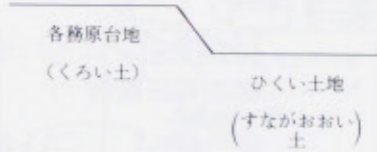
- にんじんづくりがさかになったわけをしらべてみましょう。

※ 長根にんじん むかしからつくられていたにんじんです。五十センチほどの長さになるにんじんです。長いことからこの名前がつけられました。いまは、ほとんどつくられていません。

さかんになったにんじんづくり 鶺鴒沼の各務原台地東下の畑では、むかしから長根にんじんというにんじんがつくられていました。各務原台地東下のひくい畑は、木曾川がはこんできたすななどが多い土地です。この土地は、水はけがよく、にんじんのびやすいために五十センチほどにもなる長根にんじんをつくるのに合っていました。また、農家の人は、にんじんを長くつくりつづけてきたので、にんじんをじょうずにつくるつくり方をよく知っていました。昭和37年ごろに短根にんじんがつくられるようになりまし



各務原台地の東はずれとひくい土地



た。このにんじんは、すなの多い土地でない各務原台地の畑でもつくることのできるの、台地の畑でもさかんにつくられるようになりました。

このほかのわけとして

- みじかいからほりやすい。
- 1年に2回しゅうかくできる。
- つくる日すうが長根にんじんより三十日もみじかい。
- やわらかくておいしい。
- においがすくなく食べやすい。

などすぐれた点がおおく、よく売れるのでさかんにつくられるようになりました。

※ 短根にんじん 外国からつたわったにんじんです。長さが十五センチほどです。短いことからこの名前がつけられました。今つくられているのは、ほとんどこのにんじんです。

にんじんの旅



畑からとれたにんじんは、あらって、大きさにわけて、ていねいに箱につめます。



箱につめたにんじんは、農業きょうどう組合のしゅうしゅっか場に、午後2時までにとどけます。とどけられたにんじんは、保冷車で次の朝まで冷やします。



とどけられた箱は、トラックにのせられ、ぎふ市、なごや市、はくりく、大さかの市場へ、つぎの朝つきます。



市場についたにんじんは、せりかけられ、やおやさんやスーパーの人が買います。



やおやさんや、スーパーの人が店ににんじんをならべます。



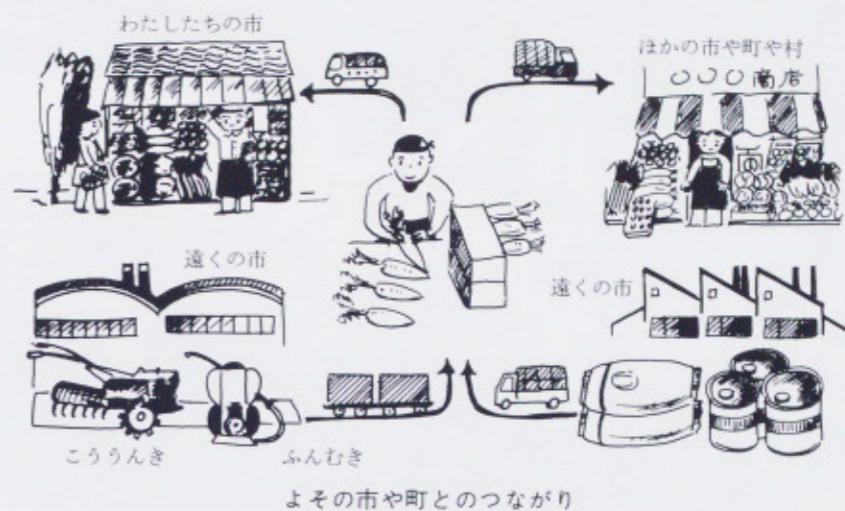
わたしたちの家の人が、やおやさんやスーパーで買います。



にんじんの箱

にんじんの旅 わたしたちは、箱につめられたにんじんが、わたしたちの家に来るまでに、どんな旅をするのか、農家のおじさんに聞いたことやしらべたことをもとに、まとめました。

農家で、トラックにつまれるにんじん

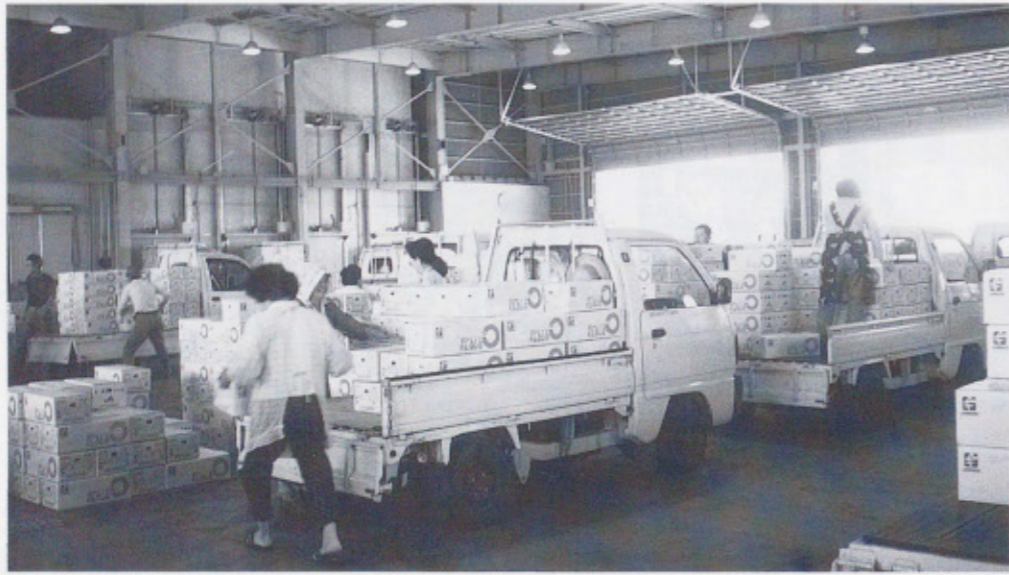


よその市や町とのつながり わたしたちは、にんじんをそだてるしごとが、よその市や町とどうつながっているか、農家のおじさんや農協のおじさんに聞いてしらべました。

- にんじんをそだてるしごとに使うものは、どこの市や町からくるのかしらべてみましょう。

農家のおじさんの話

にんじんづくりにつかうたねやビニルは、あいち県やしずおか県から、たねまき機やにんじん洗い機はぎふ市から、土おこしにつかうトラクターは、ぎふ県内で買ってるんだよ。



にんじんを集出荷場に運んできた農家の人

- 農協が、にんじんを集め、せわをするようになったわけをしらべましょう。

※ けいトラックとは、上のしゃしんのような、農家のおじさんが、しごとにつかう小さなトラックのことです。

※ 農協 農家の人たちがあつまってつくっている農業きょうどう組合のことです。(JA)

※ 集出荷場には、予冷庫があって、にんじんを新せんにたもって、出荷できるようになっています。

農協のしごと 農家の人たちが、けいトラックで運んできたにんじんのほこを、農協のおじさんが、大きなトラックにつみこんでいます。このトラックは、遠くの市や町の市場へはこびます。農協が、にんじんを集め、せわをするようになったわけは、

○農家の人たちが、ひとりひとりで売るよりも、まとめていっしょに売るのが高く売れる。

○せんでんができる。

○計画をたててつくったり、売ったりできるのであん心してつくれる。



にんじんをけんさしているようす

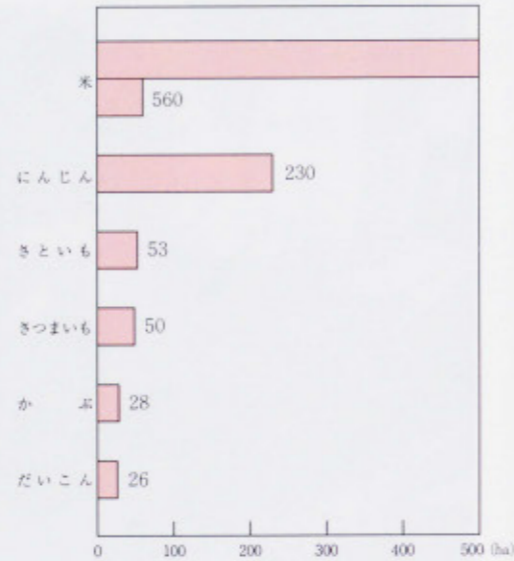
○市場までもっていきまがはぶけ、遠くの市場までもっていける。などです。

このほかに農協では、にんじんのけんさをします。大きさはそろっているか。かたちの悪いものはないか。びょうきにかかったり、きずがついていないか。十キログラムの重さになっているかのけんさです。けんさをしてすこしでもよいにんじんを出し、高く買ってもらい、おきゃくさんによるこんでもらうためです。またおいしいにんじんのつくり方のべんきょう会をひらくしごとなどもしています。

- にんじんのけんさのようすを見学し、けんさをするわけを考えてみましょう。



さといも畑



市のおもな作物の作付面積
(平成6年・各務原市農政課)

2. 市の農家で行われているもの

- わたしたちの市では、どんな作物が作られているかしらべてみましょう。

いろいろな農作物 わたしたちの市では、にんじんのほかにもいろいろな作物さくもつが作られています。みんなでどんな作物が作られているかを話し合いました。いろいろな意見がでた後に、先生が市で作っている作物の作付面積の表を見せてくださいました。それによると、市では、米づくりが一番多く、二番目ににんじんが多い。そのほかにさといも、さつまいも、かぶ、だいこんなどが作られていることがわかりました。



温室でメロンを作っている農家



温室でシクラメンをそだてている農家

これからの農家のくふう 先生は、わたしたちに上の写真を見せながら、「いま市では、大きな団地や家、道ができて田や畑が少なくなり、農家ではたらく人も少なくなっています。それで、農家の人たちは、田や畑を広くし、きかいをたくさん使ってしごとをしようとしています。

また、米やにんじんなどのやさいだけでなく、バラなどの花を作る農家もふえてきました。そして、せまい場所でもできるビニールハウスの中で、メロン、いちごなどの作物をつくるくふうをしています。」と話してくださいました。

- これからの農家のしごとはどうかわっていきましょう。



1日やく13500人分の給食のパンがつくられる

学校給食のようす

3.パンをつくる工場

見学の計画 安田屋パン工場はたくさん
のしゅるいのパンをつくっていますが、
わたしたちが給食で食べているパンをも
っとも多くつくっています。市内のすべ
ての小中学校の給食用に1日やく1万3
千5百人分もつくっています。

こんなに多くのパンをつくっている安
田屋パン工場とはどんな工場でしょう。

工場見学の計画をみんなで話しあって
たてました。しらべてくることを、見て
くることと聞いてくることにせりりして
「見学の計画表」を作りました。



安田屋パン工場はおが
せ池の近くにあります。



原料の小麦粉



第二発酵室に入る前のきじ

見学の計画表

○見てくること

- ・パンはどのような順序で作られてい
るか。
- ・どんな作業をしているか。

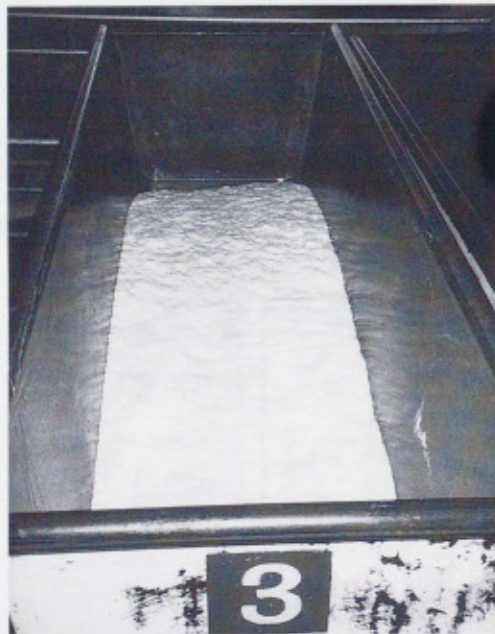
○聞いてくること

- ・げんりょうにはどんなものがあり、
どこから運ばれてくるか。
- ・せい品にはどんなものがあり、どこ
へ運ばれていくか。
- ・はたらく人はどこから通っているか。
- ・どんな工夫や努力があるか。

- 工場の見学の計画を
たてましょう。

パンのできるまで ●パンはどのようにしてできるのだろう。

①第1ミキサーに原料を入れてまぜます。原料は小麦粉、水、イースト菌。

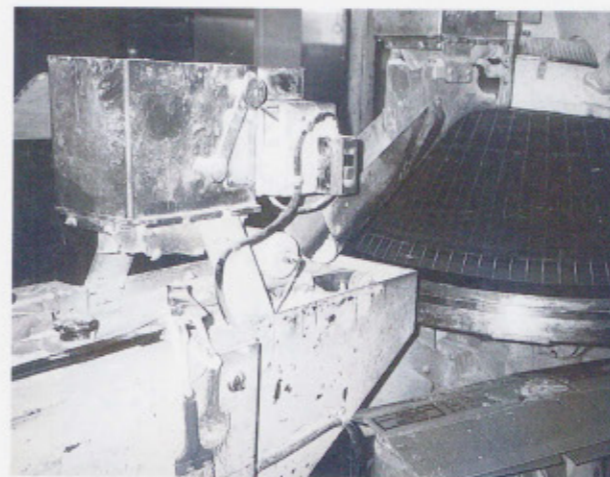
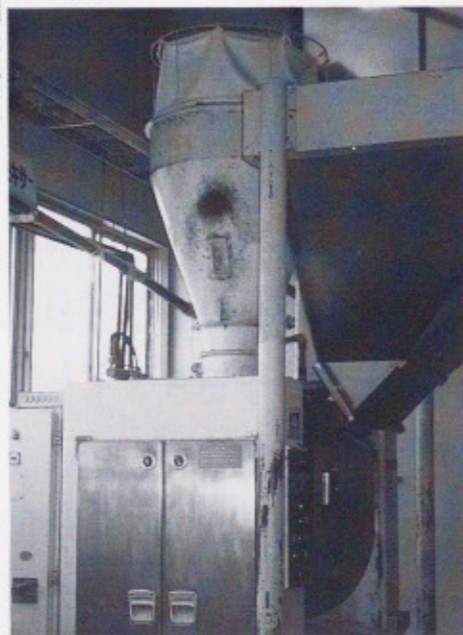


②第一発酵室

温度27度、4時間で発酵させます。

※発酵…菌のはたらきによってものが変わること。

③第2ミキサーにさらに原料を入れてまぜます。塩、さとう、ミルク、たまご、マーガリンを入れます。



④分かつ機

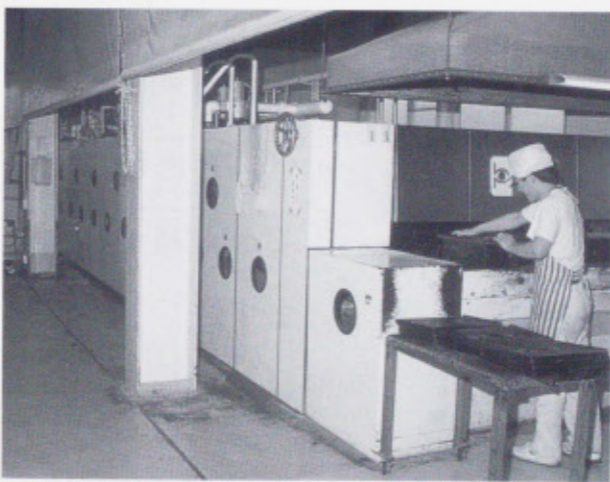
きじを同じ大きさに切ります。そのあと、丸めて、ねかせて、かたちをつくりま

※きじ…小麦粉、水、イースト菌、マーガリン、さとう、しおをまぜたもの。
※ねかす…休ませる。きじをむりに切ったり丸めたりしているの



⑤第二発酵室

もう一度発酵させます。(食パンでは38度40分間)



⑥トンネルオーブン

ガスバーナーでやきます。



⑦トンネルオーブン
にきじを入れると
ころ。きじは発酵
してふくらんでい
ます。



⑧トンネルオーブン
から出てきたやき
あがったパン。



⑨包装機
パンを包む。包ん
でから箱づめにし
ます。

げんりょう 工場の人が、パンのげんり
ょうについて話してくださいました。

● げんりょうはどこか
ら、何ではこばれてく
るのでしょうか。

パンをつくるには、多くの小麦粉
をつかいます。そのほかにも、つぎ
のようなものをつかいます。

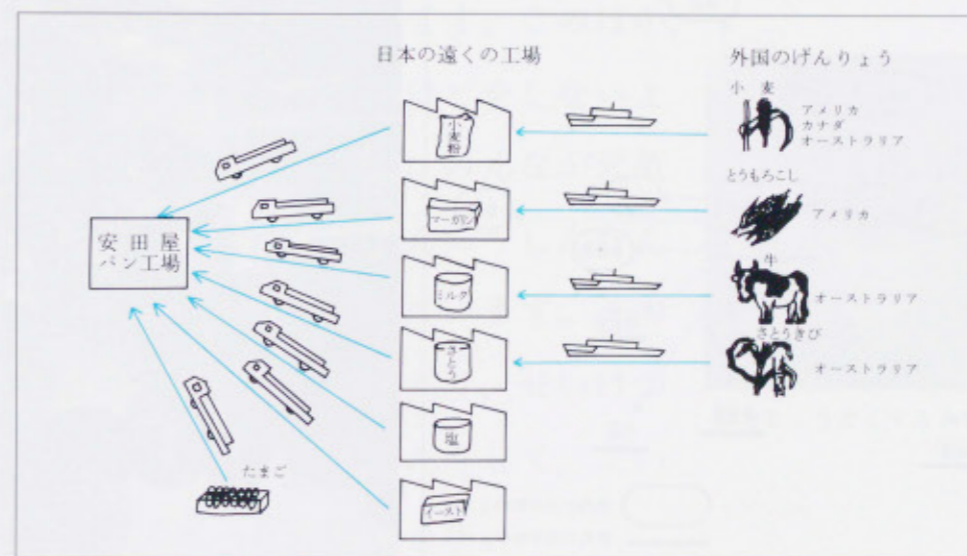
・イースト菌 ・マーガリン ・塩
・さとう ・ミルク ・たまご
などです。これらのげんりょうの多
くは、外国からはこばれてきます。

※イースト菌
パンをふくらませるは
たらきをする。



わたしたちは、工場のおじさんの話を
絵にまとめました。

げんりょうはどこから



- できあがったパンはどこへはこばれるのでしょうか。



※ 生活協同組合

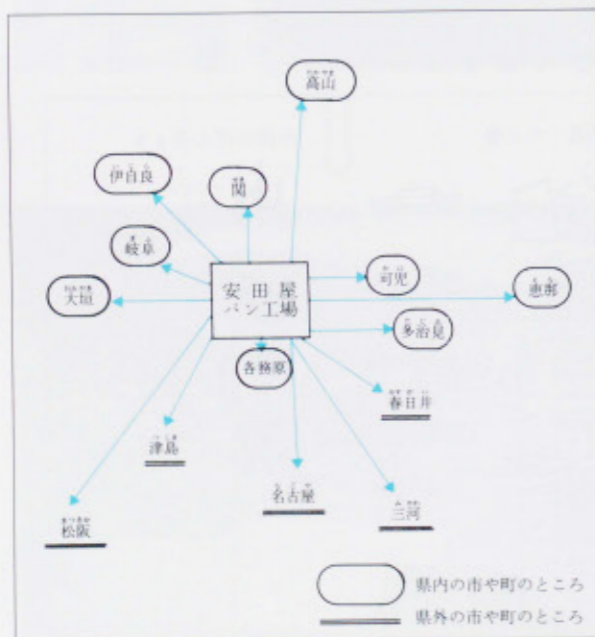
地域の人々が、生活をよりよくするために、お金を出しあってつくった組合のこと。

せい品 できあがったパンは、一つ一つの形やいろつやをたしかめられ、パンばこに入れられます。そして、トラックで市内の小学校・中学校にはこばれていきます。

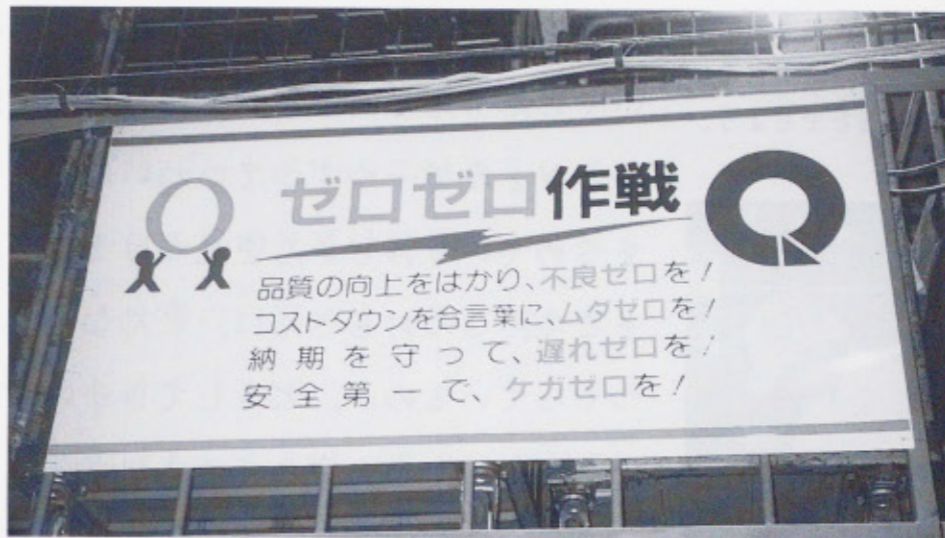
この工場では、学校の給食パンのほかに、ちゅうもんにあわせて、あんパンやメロンパンなど50しゅるいものパンをつくっています。

これらのパンは、近くの市や町だけでなく、ほかの県の生活協同組合や店に送られていきます。

パンのおくりさき



いろいろなパン



工場にあるかんばん

どりよくやくふう パンをつくるときにとくに気をつけていることは、おきやくさんにあんしんしてかってもらえるような品質のよいパンをつくることです。

また、のうりつよくしごとをしたり、やくそくの時間までにパンをつくったりすることもだいじなことです。このほか、パンをやくオープンでやけどをしないように安全に気をつけたり、みんなが元気にはたらけるように、けんこうしんだんをうけるようにしたりしています。そのほか、手をしょうどくしたり、せいけつなふくそうでしごとをしたりして、えいせいにもこころがけています。

- どんなどりよくやくふうをしているのでしょうか。



手をしょうどくするきかい

- どうしてもきかいはできないしごととはどんなことでしょうか。



※ 炭酸ガス
パンづくりで、パンをふくらませるためにひつようなガス。

手づくりのあじ たくさんのパンがきかいでどんどんつくられていくなかで、手さぎょうで一つずついねいにパンをまるめているおじさんを見つけました。そこで、このおじさんに、どんなパンをつくっているのか、どうしてきかいでつくらないのかをたずねてみました。



工場のおじさんの話

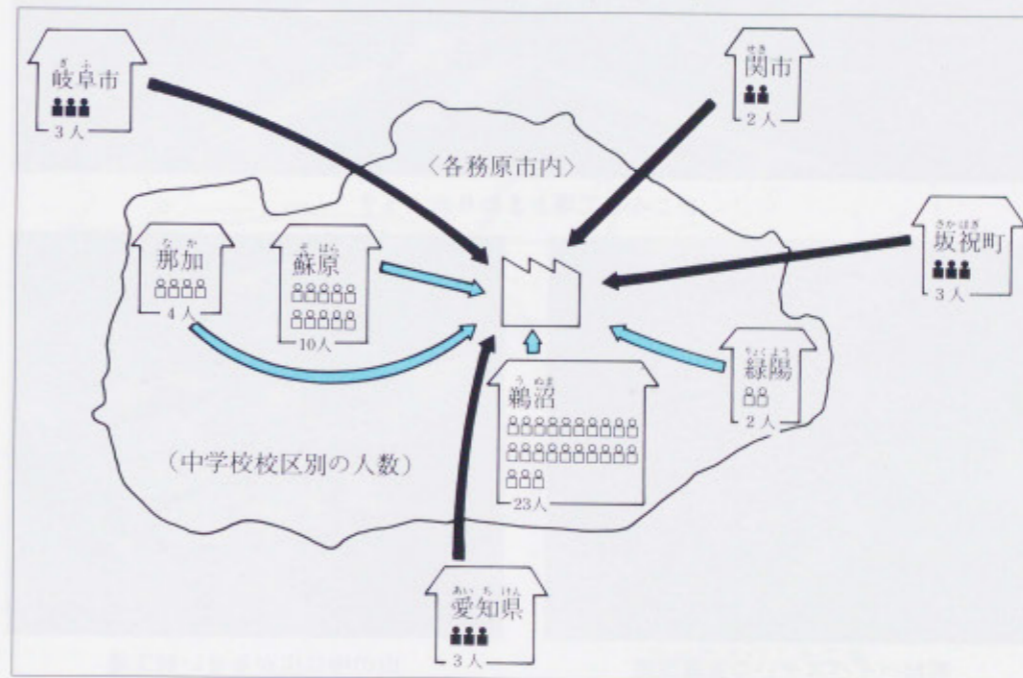
これはフランスパンです。フランスパンは、小麦粉と塩とイーストきんだけでつくります。おいしいフランスパンをつくるには、きじの中の炭酸ガスをにがさないようにして、ふっくらとやきあげなければなりません。そのために、こうしてきじの表面をととのえながら、なかみをつつむようにまるめていきます。このしごとは、きかいはできないので、一つずつ手でやっているのです。

はたらく人たち この工場では、50人の人たちがはたらいています。このうちの30人はパートタイムではたらいています。パン工場の仕事は朝早くから始まるので、仕事の内容によって、はたらく時間をわけています。

ここではたらく人は、近くにすんでいる人のほかに、となりの愛知県からかよってくる人もあるということを知りました。そこで、工場ではたらく人たちがどこからかよってくるのかを、もう少し詳しく聞いて、まとめました。

- はたらく人たちは、どこからかよっているのでしょうか。

しらべてまとめたこと



4.市の工場で つくって いるもの

- 市内には、パンをつくる工場のほかに、どんな工場があるのでしよう。

いろいろな工場 わたしたちの市には、パンをつくる工場のほかに、どんな工場があるか調べてみました。

ひこうき工場が、蘇原駅ふきんにかたまっています。金属団地が、那加バイパスぞいにあります。関・江南線の近くの須衛区内には、せい材工場があつまっています。木曾川ぞいの松本地区には、いくつかの新しい工場があつまっています。



ひこうき工場とまわりのようす



那加バイパスぞいの金属団地



山の中に広がるせい材工場

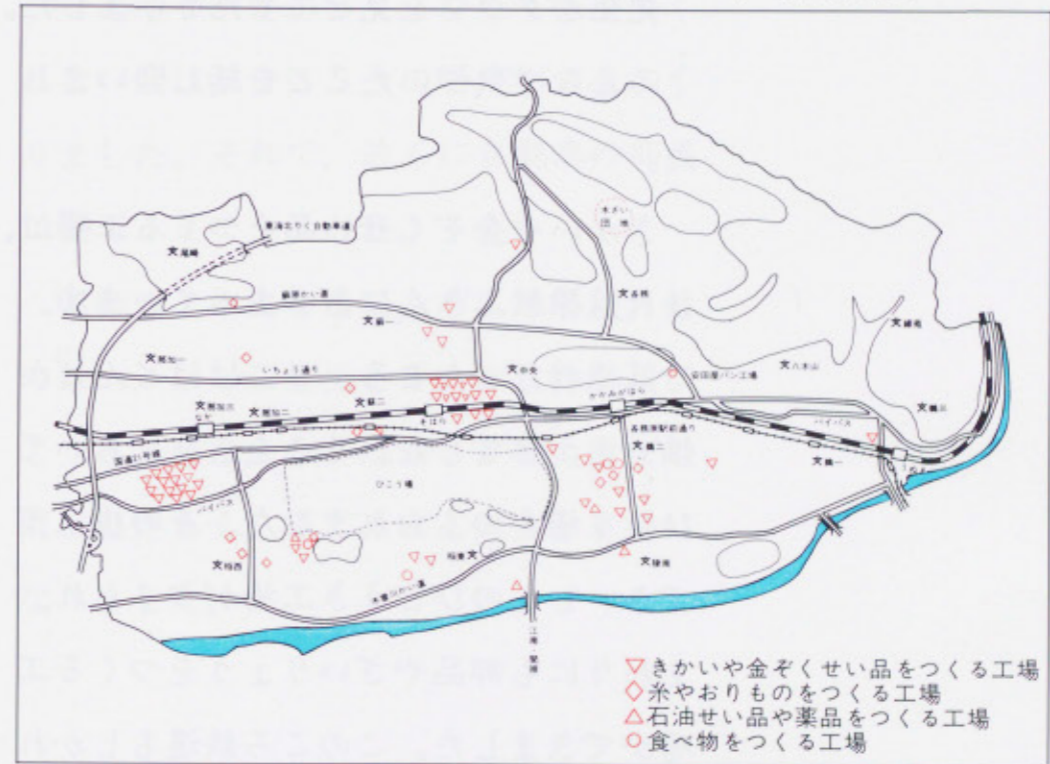
みんなが見たり聞いたりしたことのある工場を地図にかきこむことにしました。

できあがった地図をもとに、土地のようすと工場のちらばり方をしらべました。

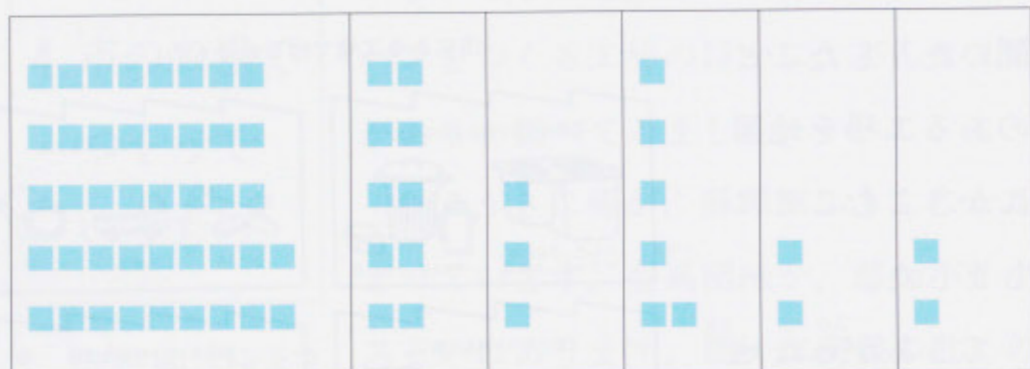
市にある工場で作られるもの



工場のあるところ —はたらく人が50人以上の工場— (平成6年)



市にある工場の数 (平成6年)



きかいや金ぞくせい品をつくる工場 糸やおりものをつくる工場 石油せい品や薬品をつくる工場 食べ物をつくる工場 木せい品をつくる工場 そのほかの工場

■ はたらく人が50人いじょうの工場ひとつをあらわす。

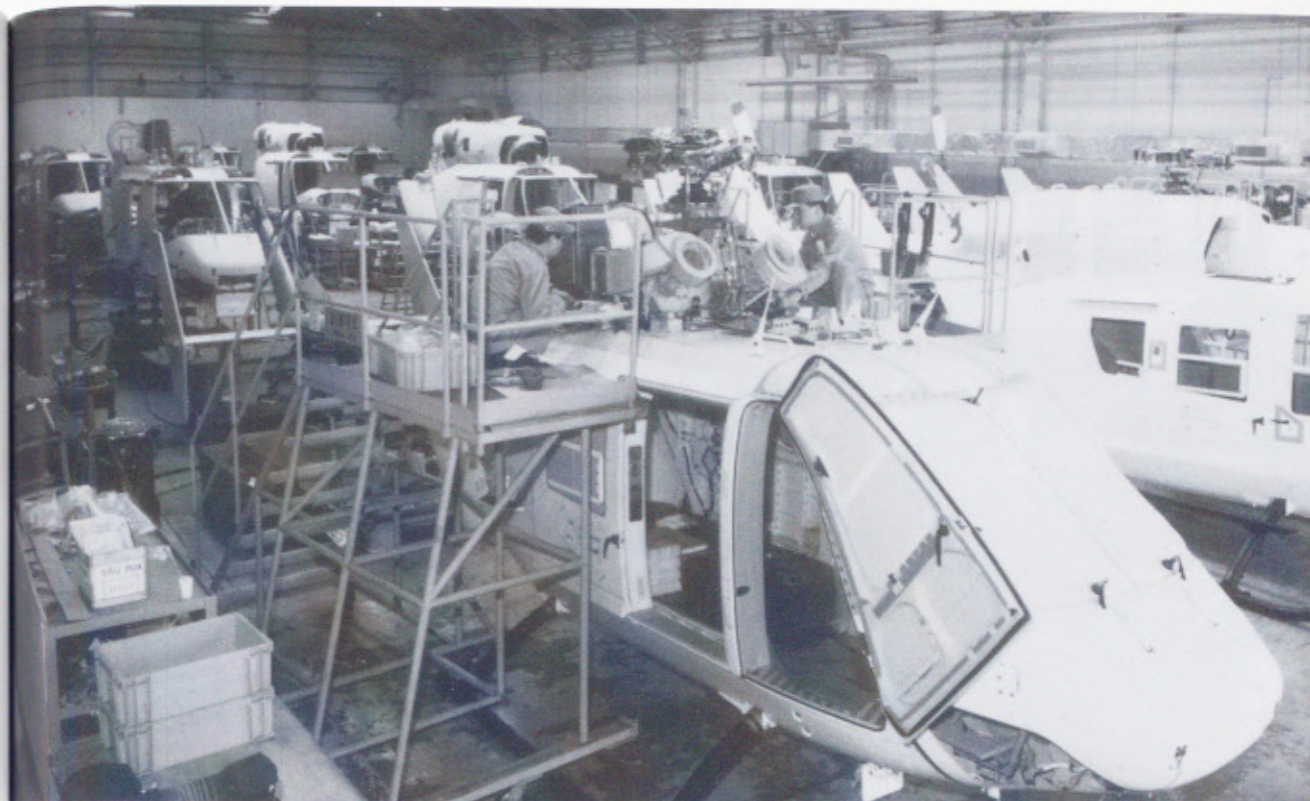
● 大きな工場では、どんなものをつくっているのでしょうか。

大きな工場 わたしたちの市では、どんなものをつくる工場が多いのでしょうか。

先生がグラフを見せてくださいました。みんなで気づいたことを話し合いました。

きかいや金ぞくせい品をつくる工場は、JR蘇原駅ふきんにあつまっています。

蘇原村だったころ、ここはほとんどが畑やまつ林でした。そこをきりひらいてひこう場がつくられました。その後、市でさいしょのひこうき工場がつくられ、まわりにも部品やざいりょうをつくる工場ができました。このころ鉄道もしかれ

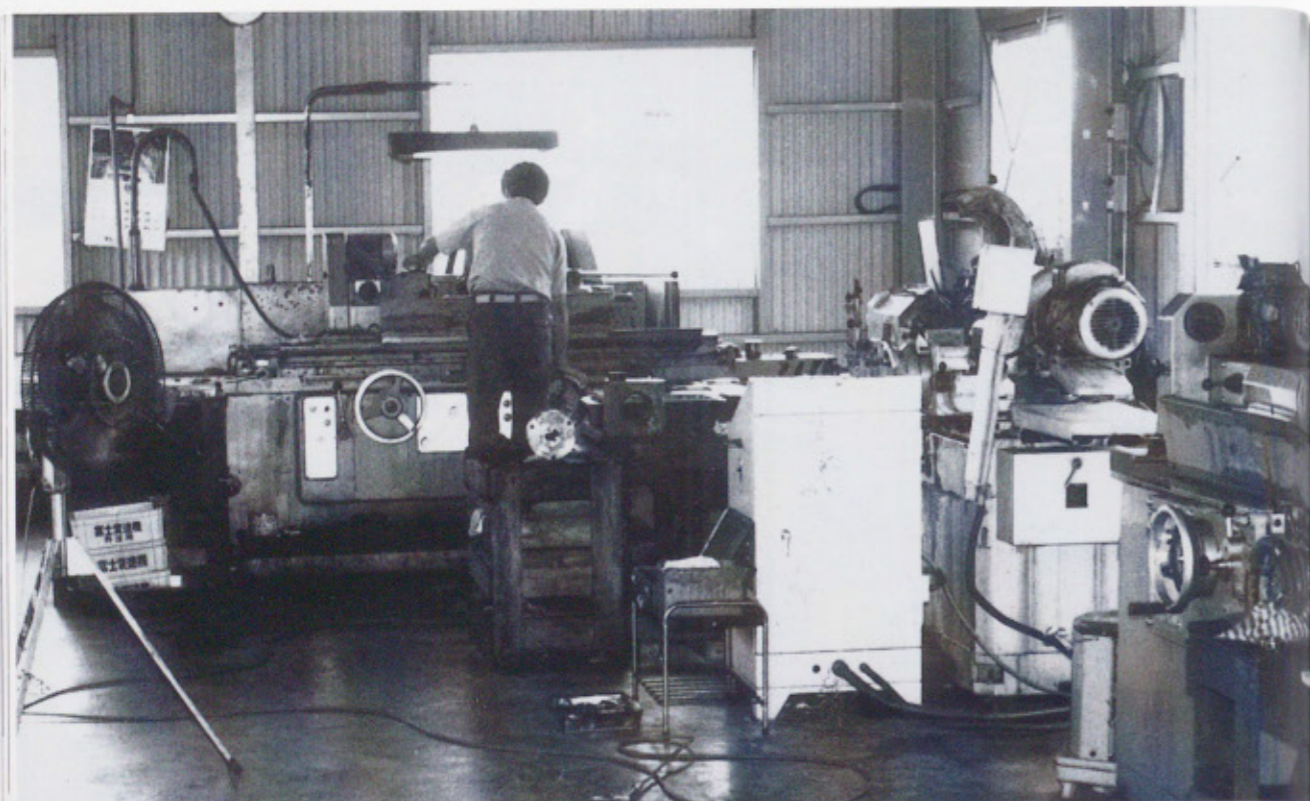


ヘリコプターをつくる工場

て、しだいに町ができました。

せんそうが終わって、ひこうきにつくれない間は、ひこうき工場でバスをつくりました。それで、近くに自動車の部品工場もふえてきました。

昭和62年になって、バス工場は、他の^{ほかに}へ、ひっこしてしまいましたが、ひこうき工場は、今では4000人ほどの人がはたらく、市で1ばん大きな工場になりました。



自動車の部品をつくる小さな工場

- 小さな工場では、どんなものをつくっているのでしょうか。

小さな工場 今までの学習では、はたらく人が50人いじょうの工場を調べてきましたが、市内には、はたらく人が9人いかに小さな工場が1200あまりもあります。

校区にある小さな工場へ、見学にでかけました。

教室より、少し大きいくらいの工場にきかいがたくさんありました。鉄の板を切っている若い男の人と、それにあなをあけるおじさんと2人でしごとをしている工場でした。

わたしたちは、おじさんに話をききました。

わたしの工場では、むすこと2人で、自動車の部品をつくっています。親工場のけんさがきびしいので、ふりょう品を出さないよう、気がついています。急なちゅうもんがあったときは、朝8時から夜9時まではたらくこともあります。

日よう日も休めないこともあります。でも、家ぞくだけですから、気らくなのがいいところです。



これらの小さな工場で作られたものの多くは、大きな工場で、ざいりょうや部品としてつかわれます。

五 かわってきた人びとのくらし



鶺沼第一小学校の資料館にあるむかしの道具

- 上のしゃしんなどから、このたんげんではどんな学習をするのか話し合い、計画をたてましょう。

みなさんの家には、むかしつかっていた古い道具などがのこっていませんか。
鶺沼第一小学校にある資料館や、炉畑遺跡の北にある旧桜井家には、今90さいぐらいのおじいさんやおばあさんたちが子どものころつかっていた古い道具などがたくさんあつめてあります。

こうした古い道具や古いたてももの、む



旧桜井家（鶺沼三ツ池町・炉畑遺跡北）



道しるべ（鶺沼小伊木町）



お祭りのみこし（蘇原加佐美神社）

かしの子どものあそび、ふくそうや食べ物などを手がかりに、そのころの人びとのくらしのようすをしらべてみましょう。また、人びとがむかしから楽しんできたお祭りや、行事にはどんなものがあるか、そのいわれなどをしらべたり、市の人びとの気もちやねがいについても、話し合ったりしましょう。

- さいしょに、学校の古いものをさがしましょう。
- それはいつごろのものか、そのころの学校の子どものくらしについてしらべてみましょう。



むかしの道具

1. むかしを さがそう

道具からむかしをさがそう むかしの道具は、今の道具とくらべると、ちがう所がたくさんあります。むかしの人たちは、これらの道具をどのように使っていたのでしょうか。



- シャシンの道具は、どんな時につかうのでしょうか。

おばあさんの話

むかし、せんたくは手でやっていました。たらいとせんたく板の前にしゃがみこんで、石けんをつけて、ごしごしと力をいれてあらいました。すすぎおわるまで、しゃがみっぱな



むかしのせんたくのようす

して、手であらうため、おわるころには、かたや足がかんかんになり、いたい思いをしたものです。今は、全自動せんたくきのスイッチをおすだけだから、せんたくをしながらごはんがたけてしまいます。

- 家からむかしの道具をもちよって、じっさいにつかってみましょう。

※ 今の道具よりむかしの道具の方が、べんりにつかやすいものもあります。

道具がちがうのはもちろん、むかしは、水道やガス、電気もありませんでした。そのため、しごとや生活をする上でたいへんなくろうをすることもあったようです。